



会長 山田 正  
 幹事 武川 毅  
 会報 村上 武彦 高田 次雄  
 森田 峯 男  
 例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327  
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

## 第2707回例会 2019.9.6 No.9

**〈鈴木賢ガバナー公式訪問&4クラブ合同例会  
 於：ホテルグランドプラザ浦島 12:30~13:30〉**

### 本日の出席率

・本日の出席率 92.2%

### 会長要件 代表 築館RC大場伸也会長

先程の会長・幹事会でも話があったのですが、どのクラブでも会員増強が重大な命題になっているのではとっております。

うちのクラブは、本年度20名で活動しております。私が入って6年目ですけれども、20名前後で推移しております。ここで急激な増加があった場合、ほんとうにクラブの和が保てるのかというのがありました。確かにたくさん入会していただくのはその後の後輩が出来るという意味において心強いのですが、今うちのクラブでは非常に良好な関係で、対外的事業活動においても入会年度に関係なく皆さん積極的に参加していただいております。例えば、入会30年という会員でも非常に参加して色々な役をやっていただいております。明日も対外的な事業として、地元の高校生を対象に模擬面接を行います。少ない会員ではございますが、みんなで頑張っております。今年度は、会員の増加は望みますが、出来るだけ今のメンバーの良好な関係を維持しながら運営していくのがロータリークラブのあり方ではないかと思っております。

### 幹事報告 小野寺伸浩幹事 (佐沼)

- ・ガバナー事務所より
  1. 2019-2020年度ガバナー月信特集コーナー  
「おらほのレジェンド&ホープ」投稿のお願い  
募集期間 9月2日(月)~11月29日(金)
  2. 九州北部豪雨災害への支援について  
受付期間 9月5日(木)~9月27日(金)
- ・宮城県環境生活部より  
みやぎの3R推進に向けた啓発活動について
- ・9月のロータリーレート 1ドル=106円

### ◎講話 鈴木賢ガバナー (要旨)

今日、活動報告書を見させていただきました。皆さんしっかりとやっていたら感心しました。

7、8、9と3ヶ月で79のクラブ全部を訪問しようと思っており、もう少しで終わるところです。そういう訪問のスケジュールを組んで忙しかったのですが、各クラブを廻ってマローニRI会長のいう今あるロータリーの問題をお話して、そしてそのことを次の行動に移せるようなことをしなければいけないのではないかと引き継いで参りました。

各クラブの例会、活動は結構違う感じがしました。同じロータリーなのにこんなにも違うのかなという感じがしました。それも個性があっているのではないかと逆に私なりに思いました。

日本のロータリーの原点は東京クラブで、その東京クラブが親クラブで、仙台クラブもいくつかの大きな親クラブがいて小クラブとなっておりますが、何も東京クラブのまねをする必要はないと思っております。個性のある、その地区に合ったロータリーの例会であり、活動であることで十分だと私は思っております。

1月にサンディエゴに行って参りました。アッセンブリーを受けていろいろ勉強して来ました。マローニ会長のテーマが「つなぐ」ということになっていました。話を聞いて1週間の勉強の時に、2つのことが大きな問題ではないかと思いました。

1つは、世界でロータリアンは120万人います。ところが120万人がふえないでずっと120万人です。是非増えることによってロータリーの精神とロータリーを知ってもらうには、やはり少しでもいいから右肩上がりの会員増強をしていかなければいけないのではないかと話です。120万人になって女性会員も増えていきます。しかし120万人より増えないので、やはり今までと違った方法で会員増強をしていかなければいけないだろう。マローニ会長は、これからやるには若い人たちを入れよう、若い人たちが入れるような環境

のロータリークラブを作っていかなければいけないのだろうという話と受け取りました。それでは若い人たちが入れる環境とは何だろうと、各クラブで考えていただかなくてはならない問題だろうと思います。

もう1つは、ポリオと言うロータリーの活動です。ポリオというロータリアンが活動する場合は36万人の罹患者になる。ところが、ロータリアンがポリオの撲滅に力を出して今や世界に数名しかいない。このことは、サンディエゴに行った時に国連の方から来て、ロータリーは世界最大の奉仕団体なのだ。「世界最大の奉仕団体」という評価を受けて、このロータリアンの活動を大いに絶賛すると言われました。

よく「ロータリーとは何だ」と言われますが、36万人がかかっていたポリオをなくしたロータリアンがいる、これは私たちが胸を張って言ってもおかしくない話だと思います。この活動のおかげでポリオがほぼなくなったことは事実です。

このポリオの後、120万人の同じ活動をするものは何だろう。お金を出して、水道、学校を作ったり、平和活動、医療活動をしたり、でも120万人が同じことをやるのは何だろうと言った時に、なかなか見出せない。何をしたらいいかというのが大きな問題です。マローニ会長は、次世代のことは若い人たちにまかせよう。次世代のことは若い人たちが考えるべきではないだろうか。若い人たちがロータリーに入って次世代のことを考えることが大切なのではないか。こういうことで若い人たちを入れる環境づくりを各クラブでやる必要があるという話です。

ただし、いくら若い人が入っても、ロータリーの精神、ロータリーの根本的なものは持ってほしいというのはなく、ロータリーとは何だろうということは分からなくてもロータリーに入っていたきたい。

ロータリーの精神である中核的価値観である親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップの5つのことを伝えてほしい。親睦ではみんなで仲良く楽しくやる、高潔な人間としてのモラルを持たなければいけない、多様性は全ての人を受け入れなければいけない、奉仕は人のために、リーダーシップは行動を移すことが大切である。若い人たちにロータリーを知ってもらって、入りやすいように環境整備をする必要があります。

6月のはじめにハンブルグで開催された国際大会に参加してきました。25,000人の大会で感激いたしました。4日間の大会でしたが3日目にハンブルグを出てゲッティンゲンという町に宿泊しました。この町にはノーベル賞の受賞者が40人を超えるという優秀なゲッティンゲン大学があります。翌朝、その町のロータリークラブの例会に出会い挨拶に行きました。ゲッティングロータリークラブは月1回の例会で、その時は、MY ROTARYとロータリー活動にどの様にインターネット活用ができるかの勉強会でした。メンバーは15名位で月1回の例会で、月1回の出席義務を負っていますが、後2~3回食事会をし皆んなで親睦を図っているとのことでした。活発で楽しそうなロータリークラブだと感じました。この話を聞いて月1回の例会がほんとうにあるのだなと思えました。

そこで、サンディエゴのアッセンブリーを思い出しました。サンディエゴの研修の中で様々なクラブの紹介がありました。ゲッティンゲンロータリークラブが私の頭の中でダブってきました。実際にこの様なクラブもあったのだと感じました。

皆様のお手元に「ロータリークラブ」であるための要素は何か?という紙を配布しております。

ここに掲げている5つのクラブは極端な例かも知れませんが、今のロータリークラブはこういうのもあるのだなあということを入れて、次のロータリー活動をなされたらよろしいのではないかと思います。

- ①ムーンライトレッジ・ロータリークラブ  
毎月の例会は、第1金曜日午後6時  
第3木曜日午後6時
- ②ベイシティ・ロータリークラブ  
例会は隔週の水曜日の正午。オンラインで開く
- ③ウィローツリー・ロータリークラブ  
会員数10名、5名の法人会員、3名の家族会員
- ④フォックストレイル芸術会館ロータリークラブ  
会員は芸術会館の職員。例会は、毎週水曜日の昼食時に開いている。
- ⑤ヤングブラッド・ロータリークラブ  
会員は40名、全員が35歳以下、会長は29歳。  
最年少は19歳。

(詳細は、配布資料をご覧ください。)



鈴木彦太会員の甥、鈴木賢ガバナーを囲んで記念撮影



鈴木賢ガバナー講話